

■タイ：2大政党がそろって反原発

国家開発管理研究所 (INDA : National Institute of Development Administration) は2011年6月6日、タイの2大政党である民主党 (The Democrats : 与党) と Pheu Thai 党 (タクシン元首相派 : 野党) がそろって原子力発電所の建設計画を延期する方針であると発表した。それによると、両政党とも電力政策について「安全性」と「自然エネルギー」を強調し、どちらの政党が政権に就いても原発建設は先送りされるとしている。環境政策フォーラム(6月5日、同研究所主催)では、民主党の Kalaya Sophonpanich 前科学技術相が「原発に反対ではないが、安全性を確認するための調査・研究の時間が必要である」と、Pheu Thai 党の Plodprasop Suraswadi 副党首は「原発の安全性に自信が持てるまで建設すべきではない。原発を建設しないことで電力不足になっても国民は不満を言うべきではない」とそれぞれ述べた。両政党とも、太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーの開発を支持している。同研究所が6月1日~2日に行った世論調査(回答者1,230人)では、「原発建設に反対」は72%であった。